

公益財団法人ロッテ財団 2024 年度奨学生の募集について

2023.11.29

1 応募資格…以下のすべてに該当する者

- 1) アジア諸国(中国を除く)から来日している私費留学生(在留資格:留学)
- 2) 2024年4月1日現在で工学部又は工学研究科正規課程に在籍する、35歳以下の者
- 3) 2024年4月又は10月進学予定者については、申請時点で進学が確定している者のみ申請可
- 4) 2024年4月1日から原則として2年間奨学金を受給できる者(現課程の在籍残期間が2年に満たない場合でも応募可)
- 5) 成績評価係数が2.4(学部生)、2.6(大学院生)以上の者
- 6) 日本語能力が十分な者。(N1程度) 7) 他の奨学金を受給していない者
- 8) 2023年12月20日(水)15:00~(予定)の留学生課面接、および2024年1月31日(水)の財団面接に必ず出席できる者
- 9) 奨学生交流会(年4回を予定)に必ず出席できる者

Sufficient Japanese ability equivalent to JLPT N1 level is required to apply.

2 援助の金額、援助の期間

月額: 18万円

期間: 原則として2024年4月より最長2年間。但し、各課程の最上級年次の奨学生は、上級の課程に進学することが条件。

3 推薦人数 1名

4 提出書類

- 1) 奨学金申請書(所定用紙、日本語自筆) 2) 履歴書(所定用紙、日本語自筆)
*担当部課等の欄は空欄のまま提出すること *現在までの学歴に空白期間がないよう記入すること
- 3) 本人申告書及び本人申告書の別添記入用紙(所定様式、PC作成)
*「(2)経済状況」欄の2022年度授業料については、申請時は空欄で提出のこと。
*「(3)連絡先」欄は留学生の友人等ではなく、確実に日本で連絡の取れる連絡先を記入すること(指導教員等)
- 4) 2024年度奨学金申請書テキストデータ(所定様式、PC作成)
- 5) 在学証明書〔又は合格通知書(写)〕 6) 在留カードの写し(両面)
*応募書類の提出時点で合否未定の者は応募不可
- 7) 成績証明書(学士課程以降、直近のものまで) *直近のもの以外は写し可
*別紙参照のうえ算出した成績評価係数を余白に鉛筆書きで記入すること
- 8) 指導教員(アドバイザー)による推薦状(A4 1枚、様式任意) *PC作成可、日本語で作成。内容確認のため封印せずに提出。
- 9) 私費外国人留学生身上書(所定用紙)
- 10) 家計状況申告書(所定用紙)
- 11) 日本語能力試験に合格している者は「認定書」および「合格結果通知書」の写し(得点の表記のあるもの)
- 12) 配偶者がいる場合、配偶者の収入証明書(源泉徴収票等)の写し
*1)~2)は、日本語で直筆。3)~4)はPC作成。
*9)~10)は、2023年10月以降に、他の奨学金応募で既に提出したことがある場合は不要。

以下は工学部・工学研究科からの推薦が決まったら提出

- 13) 指導教員(アドバイザー)による推薦状(A4 1枚、様式任意) *PC作成可、日本語で作成。内容確認のため封印せずに提出。

5 申請書類の提出先 工学部・工学研究科教務課国際交流係(中央棟3F)

6 締切日 令和5年12月8日(金)

2024年度に他奨学金について受給が決定している者ならびに申請中(直接応募含む)の者については選考対象外とします。

公益財団法人ロッテ財団

2024 年度一般奨学生(春季採用)募集要項

1. 趣旨

公益財団法人ロッテ財団（以下本財団という）は、日本の大学または大学院等で学ぶ主としてアジア諸国からの留学生のうち志操堅実・学力優秀でありながら、経済的理由により学業の継続が困難な者に対して支援を行い、もって、諸国間の友好親善、国際交流及び人材の育成に寄与することを目的とします。

2. 特徴

本財団の奨学金の特徴は次のとおりです。

- (1) 奨学金は支給とし、返済の義務はありません。
- (2) 奨学生の卒業後の就職、その他一切については、本人の自由とします。

3. 奨学生の応募資格

- (1) 日本以外の国籍を有し、主としてアジア諸国から来日している私費留学生
- (2) 大学の学部又は大学院の正規課程に在学する者
- (3) 2024 年 4 月 1 日現在で 35 歳以下の者
- (4) 在留資格「留学」を有する者
- (5) 修学のために経済的援助を必要とする者で、2024 年度に他の奨学金及び多額の収入を得る予定のない者（他の奨学金との併給は認めない）
- (6) 配偶者がいる場合、配偶者の年収が 500 万円未満であること
- (7) 学業、人物ともに優秀である者。現在もしくは 1 学年下の学業成績が、在学する（していた）大学の基準で GPA 3 以上であること。
- (8) 日本語による意思伝達が可能である者（日本語能力試験 N1 取得程度）
- (9) 国際理解と国際間の友好親善に積極的に協力する者
- (10) 本財団の奨学生交流会(年 4 回程度を予定、うち 1 回は宿泊を伴う研修旅行)に出席できる者
- (11) 本人の状況確認の為、年数回の本財団事務局との面談に応じることのできる者

4. 採用予定人員 22 名程度

5. 奨学金の額、支給期間・方法、支給期間の延長

- (1) 支給金額 一人当たり年額 216 万円（月額 18 万円）

- (2) 支給期間

原則として、2024 年 4 月 1 日から最長 2 年間とします。なお、応募の時点で各課程の最終学年に在籍する者は、選考面接日時点で、上級の課程（学部から博士前期課程又は、博士前期課程から博士後期課程）に進学することが決定していることが条件となります。

(3) 支給方法

奨学金は原則として、毎月 28 日（当日が銀行の休日となる場合は前営業日）に財団が指定する金融機関の本人名義の口座に入金されます。

なお、第 1 回目の奨学金は、2024 年 4 月 28 日に入金されます。

(4) 支給期間の延長

支給期間の最終年度に限り、1 年間を限度として支給期間延長を申請できます。但し、延長期間は正規修業期間内とします。

（なお、選考委員による面接等の審査を経て合否が決定されます）

6. 奨学金の支給停止又は打ち切り

奨学生がロッテ財団奨学生としての義務を履行しなかったとき、又は奨学金を本来の目的に使用しなかったとき等の他、下記事項等に該当する場合、原則として、その事由の発生した月の翌月から奨学金の支給を停止（支給の再開もある）又は打ち切ることがあります。

(1) 奨学金の支給停止

- ① 理由なく 1 ヶ月以上にわたり、連絡がとれなかった時
- ② 在籍する大学の学則で定められた長期休業期間以外に、あらかじめ届け出て 1 ヶ月以上日本を離れる時。この場合は、離日の翌月から奨学金の支給を停止し、帰国後本人からの申請があれば支給を再開する。
- ③ 1 ヶ月以上の病欠、理由のない長期欠席等により学業に支障がでる時
- ④ 本財団奨学生としての義務（交流会への出席、各種届出・報告事項の提出等）を果たさなかった時
- ⑤ その他、財団で奨学金の支給停止について相当と判断した時

(2) 奨学金の打ち切り

- ① 募集対象校以外へ転学した時
- ② 学業成績又は素行が甚だ不良の時
- ③ 留年した時、又は、卒業あるいは修了延期の恐れが生じた時
- ④ 留学生としての資格を失った時
- ⑤ 学則により処分を受けた時（軽微なものを除く）
- ⑥ 応募書類の記載事項に重大な虚偽が発見された時
- ⑦ 奨学金の一部又は全部を本来の奨学金の用途以外に使用した時
- ⑧ 配偶者がいる場合、その年収が 500 万円以上となった時
- ⑨ 奨学金を必要としない理由が生じた時
- ⑩ 本財団の目的に反する言動をおこなった時
- ⑪ 本財団若しくは本財団の支援企業の名誉を傷つけ又は著しく迷惑をかけた時
- ⑫ その他、支給停止の事由が度重なる場合等、財団で奨学金の打ち切りについて相当と判断した時

7. 募集方法

本財団が募集対象校とする大学等を通じて募集します。

8. 応募の手続

以下の書類を揃え、在学する大学の留学生事務担当窓口に提出してください。

- (1) 奨学金申請書（所定の様式、自筆にて）
- (2) 履歴書（所定の様式）
- (3) 本人申告書（所定の様式）
日本留学の目的・将来希望する進路については、財団指定のテキストデータ（10）にて提出
- (4) 在学証明書 修士課程または博士課程に進学する者は合格を証明する文書（大学の発行する合格通知書またはその写し）
- (5) 在留カードの写し
- (6) 成績証明書：現課程のもの。入手不可能の場合は、前課程のもの。
- (7) 推薦状：学部長又は指導教員等によるもの。用紙は、A4 サイズで1頁。
- (8) 日本語能力試験に合格している者は「合否結果通知書」（得点表記）の写し。日本語能力試験未受験の者は、指導教員等による、N1相当であることを保証する文書。
- (9) 配偶者がいる場合には、配偶者の収入を証明する公的文書等の写し
- (10) 本財団が指定する項目のテキストデータ

なお、大学の事務局は、推薦状を開封し、以下の書類を **2023年12月28日（木）** までに、本財団事務局まで電子メールに添付し、提出してください。

- ① (1)から(9)までの書類の Pdf データ
- ② (2)、(3)および(10)の Excel データ

9. 選考及び決定

- (1) 推薦された者のうち書類審査を通過した者について、本財団に設置する奨学生選考委員会の選考面接を経て、理事長が奨学生を決定します。

(注) 書類選考を通過した者には、**2024年1月23日**までに電子メールにて大学事務局宛に面接の詳細連絡をいたします。

面接は **2024年1月31日（水）** に東京都内もしくはオンラインにて実施（時間・場所等は後日、大学事務局宛に電子メールにて連絡）致しますので、書類審査を通過した申請者は必ず面接を受けて下さい。面接に来られない場合は不採用となります。

- (2) 採用決定者については **2024年2月9日**までに大学事務局に通知します。

10. 個人情報の取り扱い

奨学金への応募に際して本財団にご提供いただいた氏名、住所、メールアドレスその他の個人情報は、以下の目的のために利用します。

- (1) 奨学生選考の実施（出願処理、審査等）
- (2) お問い合わせ対応、奨学金応募者及び奨学生に対するご連絡
- (3) 採用決定後の奨学生の管理

- (4) 奨学生に対する奨学金に関する資料及び交流誌の送付、その他本財団に関する情報の提供
- (5) その他上記利用目的に付随する目的

なお、本財団のプライバシーポリシーについては、
<https://www.lottefoundation.jp/about/privacy.html> をご覧ください。

《問合せ先》 公益財団法人ロッテ財団 事務局 奨学事業担当
〒163-1413 東京都新宿区西新宿 3-20-2
e-mail:zaidan.lotte@lotte-hd.co.jp
TEL:03-5388-5564 Fax:03-6276-5652

以上

*2023年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調書

1. 身分・名前等

身分	学部 MC 年	年 DC 年	学部研究生 大学院研究生	学籍番号	
学科名 専攻名			指導 教員		研究室 TEL
氏名	(漢字)				既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)			国籍	
東北大学 入学前の 在籍大学					年 月 卒業・修了
東北大学 での移動 (新しい順番に)	在籍身分		在籍期間		
			年 月 ~ 現在		
			年 月 ~ 年 月		
住居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山		国際交流会館三条第一会館		
	ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ)		国際交流会館三条第二会館		
	ユニバーシティ・ハウス片平		ユニバーシティ・ハウス長町		
	国際交流会館東仙台会館				
	県・市営住宅・民間アパート(住所)		

2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

氏名	続柄	年齢	同/別居	職業	勤務先または学校名
	父				
	母				

*

*2023年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在籍	学部 年	学部研究生	学籍番号	
	MC 年 DC 年	大学院研究生		
氏名				

家計状況

* 2022年4月から2023年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2022年10月入学の場合は2022年10月から2023年3月までについて記入してください。

収 入		支 出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他()	円	その他()	円
合 計	円	合 計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか? 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

*この2年間で申請して不採用だった奨学金名と申請した年を記入して下さい。(例:2021年 ○○奨学金)

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

2023	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請中	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった
2022	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	-	申請したが不許可だった

別紙

成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

[成績評価係数の算出方法]（小数点第三位を四捨五入）

4段階評価（パターン1）	成績評価				
	優	良	可	不可	
4段階評価（パターン2）	A	B	C	F	
4段階評価（パターン3）	100～80点	79～70点	69～60点	59点～	
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

[計算式]

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2019.02.01

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、資格を満たしているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。（認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります）
- ・申請に必要な書類が手元にあるか、必ず確認してください。特に前課程の成績証明書の不足が多いので注意してください。
- ・他の財団に大学推薦または直接応募により申請中の場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。（ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます）
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合はあらかじめ交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回の内容をそのまま流用せず、新たに願書を作成してください。
 - ・消えるボールペン（フリクション）は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
（消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません）
 - ・選考の際、申請書類によってあなたの印象は大きく左右されます。選考者（相手方）が読みやすいよう、丁寧な記載を心がけてください。
 - ・書き損じた場合は修正液（テープ）や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
 - ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
 - ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
 - ・相手方に失礼のないよう、記入欄の7～8割を目安に記入するようにしてください。
 - ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがいないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし（数字なら0）」等と記入して下さい。
- ※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ずあらかじめ所属部局の奨学金担当係に確認してください。
・大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。